

第5回大阪市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会 会議要旨

- 1 開催日時 平成26年12月8日(月) 10時00分～
- 2 開催場所 大阪市役所 屋上階 P1 共通会議室
- 3 出席委員 多田羅委員(専門分科会長)、石田委員(専門分科会長代理)
早瀬委員(保健福祉部会長)、上野谷委員(介護保険部会長)、
植田委員(介護保険部会長代理)、
家田委員、池尾委員、伊藤委員、乾委員、太田委員、後藤委員、大工谷委員、
辻委員、手嶋委員、中澤委員、野口委員、濱田委員、矢田貝委員

4 議 題

- 1 次期「大阪市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」(素案)の策定について
 - (1) 計画素案(総論・重点的な取組み・具体的施策)について
 - (2) 介護保険給付に係る見込み及び介護保険料(概算)について
- 2 パブリック・コメントについて
- 3 その他

5 配布資料

- 資料1-1 次期「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(素案)」総論
- 資料1-2 次期「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(素案)」重点的な取組み
- 資料1-3 次期「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(素案)」具体的施策
- 資料1-4 次期「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(素案)」
施設等の整備目標数、介護保険給付に係る費用の見込み等
- 資料2 次期「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(素案)」概要版
- 資料3 パブリック・コメントの実施について

(参考資料)

- 1 次期「大阪市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の策定スケジュール
- 2 審議会における委員意見及び本市の考え方

6 会議要旨

【議題1】

- 事務局から、資料1-1、資料1-2、資料1-3、資料2及び資料2の添付資料に基づき、「10月審議会以降の計画素案に対する変更点」及び「次期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の素案の概要」について説明。
- 資料1-4に基づき、「施設等の整備目標数、介護保険給付に係る費用の見込み等」及び「保険料の概算」について説明。

(主な意見等)

- ・ 介護保険の地域支援事業の費用の見込みについて、第6期からいわゆる新しい総合事業や介護予防事業の見直し、生活支援サービスが始まるということで、平成29年度は急に66億円増えるということで、かなり大きな変化となっている。平成28年度までは、地域支援事業ではモデル的に実施する形にして、平成29年度から一挙にするという感じですね。急に増える感じなので、平成28年度ぐらいから前倒しで準備を進めたほうがいいんじゃないかと思っている。
- ・ 地域の中で支援をどう作るかということについて、平成29年に向けて、平成27、28年はすぐれた地域実践をやっていただいた方がいいと感じる。今まで社会福祉協議会等、地域団体が実施してきたことをもう一度再評価して、みんなでもう一回やり直すといったことをする必要があると思う。また地域の中の担い手や実施にあたっての準備や指導、コーディネートなど、そういった手法も検討が必要と思う。
- ・ 2025年問題に対して、ソフトランディングするには、地域全体の枠組みを変えていくといったような大きな取り組みが必要になってくるのではないかと思う。そういう意味では、いろんなモデル事業をそれぞれの地域でやって、実績を上げていくということが必要ではないかと思う。
- ・ 保険料が増加していかざるを得ない状況だと思うが、そういったことが担当部局だけではなく、大阪市全体で理解されているのかどうか。担当部局が必要と言っている、財政担当がだめとなっては困る。公平な負担が必要であり、公平性というのをできるだけ大切にしていきたい。
- ・ 保険料率について、基準額の6,998円を払う方はそれほど多くないのではないかと。すべての方が6,998円を払うというわけではないので、非常に分布が大事だと感じている。素案には、保険料率に対する分布があった方がいいのではないかと思う。
- ・ 市民の皆さんが市に介護保険料を払っていて、それに加えてボランティア活動もということになる。そうすると、かなり丁寧に24区で市民に説明をしないといけない。
- ・ 元気な高齢者の活用が必要と思っている、そういった部分は反映されていると思っている。どのようにして元気な高齢者を地域活動に引き込んでいくのかを考えたときに、高齢者の高学歴化ということも念頭においていただき、プログラム等を考えていただくことも必要と思っている。
- ・ 大阪市はひとり暮らし高齢者が多く、早めに住みかえていくというニーズが高まっていくと思う。地域の中で多様な住まいをしっかりと支援していただける、あるいは選択できるような仕組みをつくっていくことが地域包括ケアシステムの基本的な考え方として重要ではないかと思う。
- ・ 素案には、地域にいろいろ協力してもらおうということが書かれているが、実際にはものすごい幅が広く、奥も深い。世代によって福祉へのボランティアの考え方がすごく違うと感じている。いま活動している方は70歳の方が非常に多い。次の世代がどこまでできるのかということもあり、そういったことも考えていただきたい。
- ・ 少子高齢化で若い人が減ってきている。地域の見守り施策の推進、認知症問題など、地域がどのように支えていくのか。地域でいま活動されている方は、非常に意欲的に

取り組んでいただいているが、後継者の育成をどうするか、担い手不足が問題となっている。地域組織について2年ほど前から大阪市の取り組みの中で変わってきており、意欲のある方が減ってきたという面がある。これをいかに補っていくのか、これは行政の役割ではないかと思っている。

- ・ 調査結果をみると、ひとり暮らし高齢者の日常生活での不安が非常に高い。素案の中ではひとり暮らしの人に対して、不安を持っている人に対してどういうサービスをするのかということについて、もう一言、二言増やしていただきたいと感じる。

【議題2】

○事務局から、資料3に基づき、「パブリック・コメントの実施」について説明。

(主な意見等)

- ・ 本日、各委員からいただいた意見は、パブリック・コメントにかかる一つの意見として、最終案の検討をお願いしたい。

【議題3】

○特になし。

※司会から、参考資料1に基づき、今後のスケジュールについて説明。